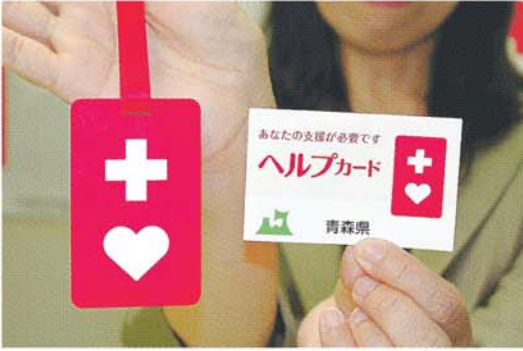


ペースメーカー装着や発達障害など、外見では分からない心身障害に配慮できるよう、青森県はリュックサックやかばんに付ける「ヘルプマーク」を10月3日から配る。配布は全国の都道府県で5番目、東北では

ヘルプマーク



配布するヘルプマーク（左）とヘルプカード

見えないハンディ理解を

青森県が配布

初めて。
赤地に十字とハートをあしらった縦8・5センチ、横5・3センチの樹脂製の2万個を各市町村を通じて無料配布する。希望者は各自自治体の障害福祉担当の窓口で簡単な申請をする。

災害時に周囲が迅速にサポートできるため、かかりつけの医療機関や緊急連絡先を記入する「ヘルプカード」も2万枚用意。ポスターやチラシで県民にマークへの理解と周知徹底を図る。

ヘルプマークは東京都が2012年、全国で初めて導入。同じデザインを京都市府と和歌山、徳島両県でも採用している。

青森県の担当者は「ハンディへの理解と障害者の社会参加につなげたい」と話す。連絡先は県障害福祉課017(734)9309。

(2016年9月28日河北新報朝刊)

- ①青森県が10月3日から配布している「ヘルプマーク」は、どんな目的で作られたものですか。
- ②「ヘルプマーク」とは、どんなものですか。
 ・デザイン（ ）
 ・大きさ（縦 センチ）（横 センチ）
 ・材質（ ）
- ③災害時に周囲が迅速にサポートできるよう、かかりつけの医療機関や緊急連絡先を記入するために用意されたものは何と申しますか。

年 組 名前